

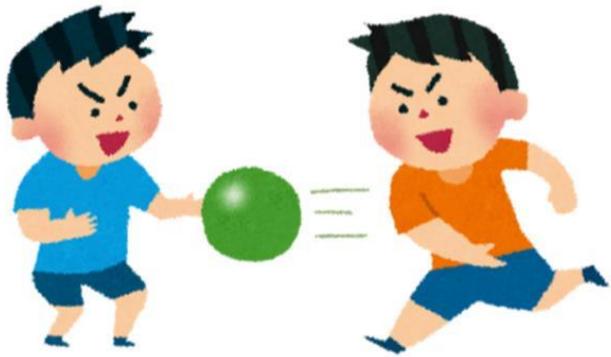
# 小学校教員の教え方改革

—体育嫌いは子どもだけじゃない—

東洋大学 山下ゼミA

○千葉 孝子 池田 実央 川崎 妙子 橋本 英里香







# 目次

1

緒言

2

研究方法・結果

3

提言

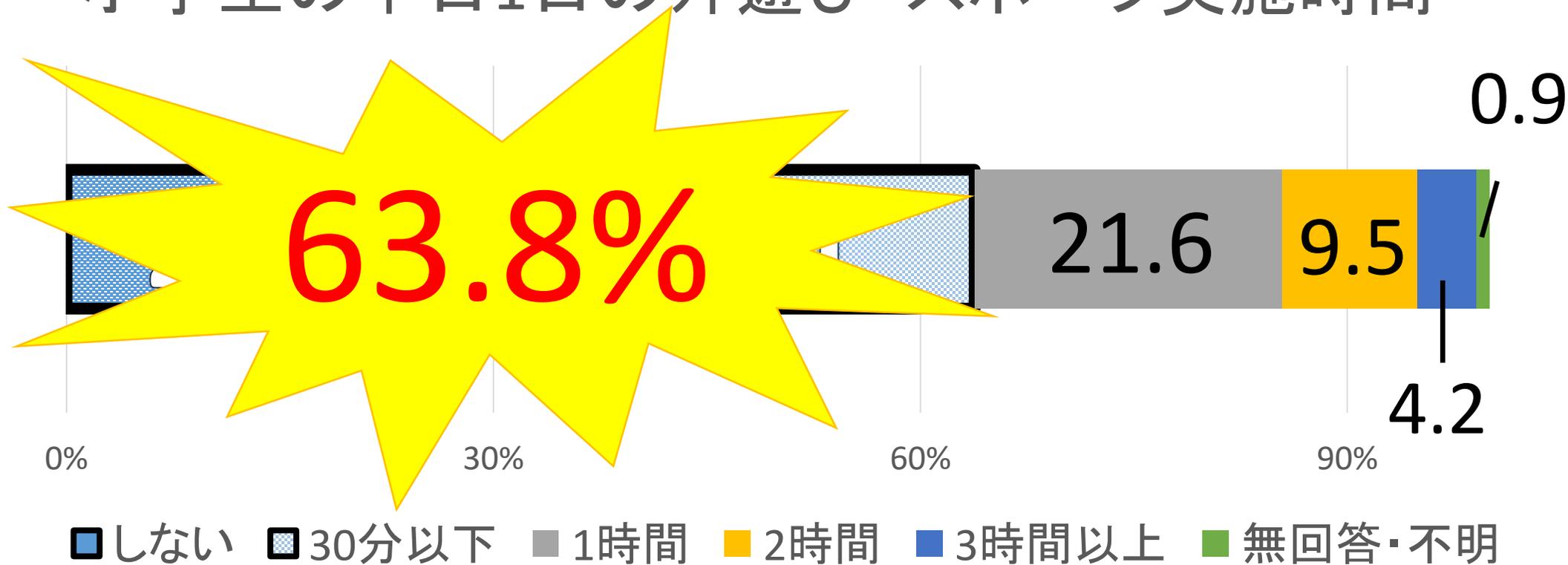
4

まとめ

# 1. 緒言

# 子どもの運動実施の実態

## 小学生の平日1日の外遊び・スポーツ実施時間



(スポーツ庁平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果をもとに作成)

# 子どもの運動実施の実態

## 小学生の外遊び・スポーツ実施時間

平日1日 30分以下 **6割以上**



# 運動実施の二極化

緒言

研究

提言

まとめ

# 子どもの運動不足

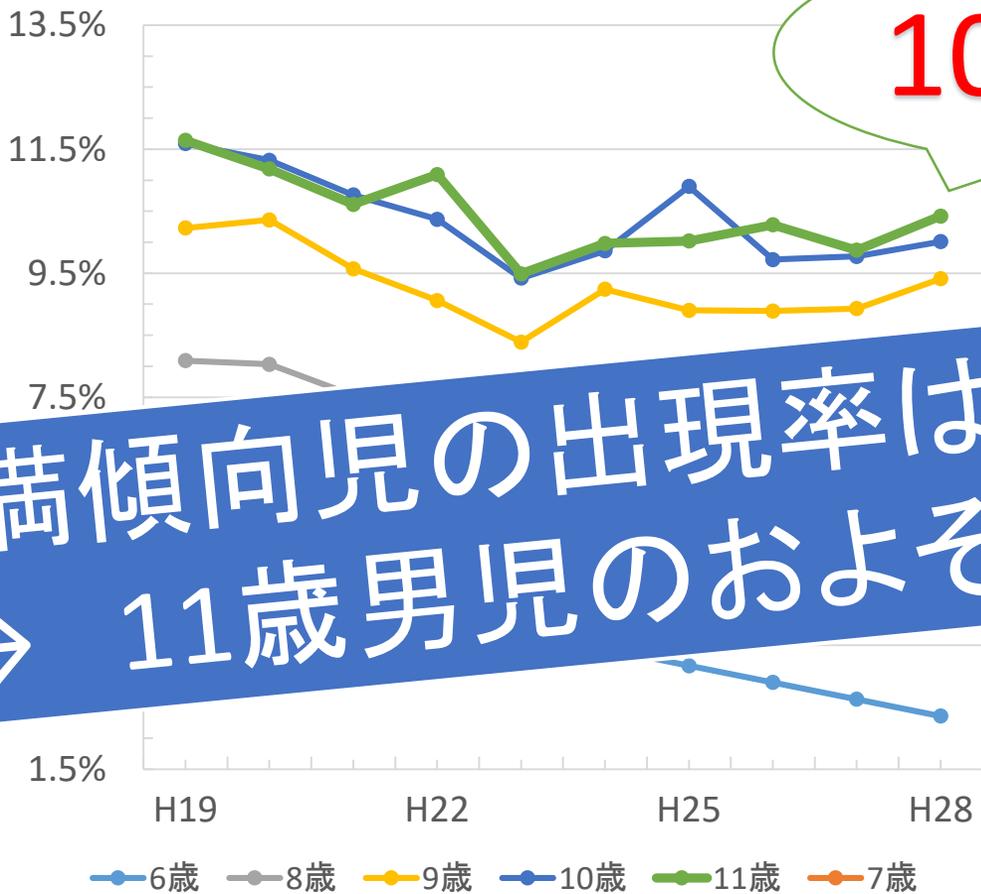
肥満児の出現

ストレスに対する  
抵抗力の低下

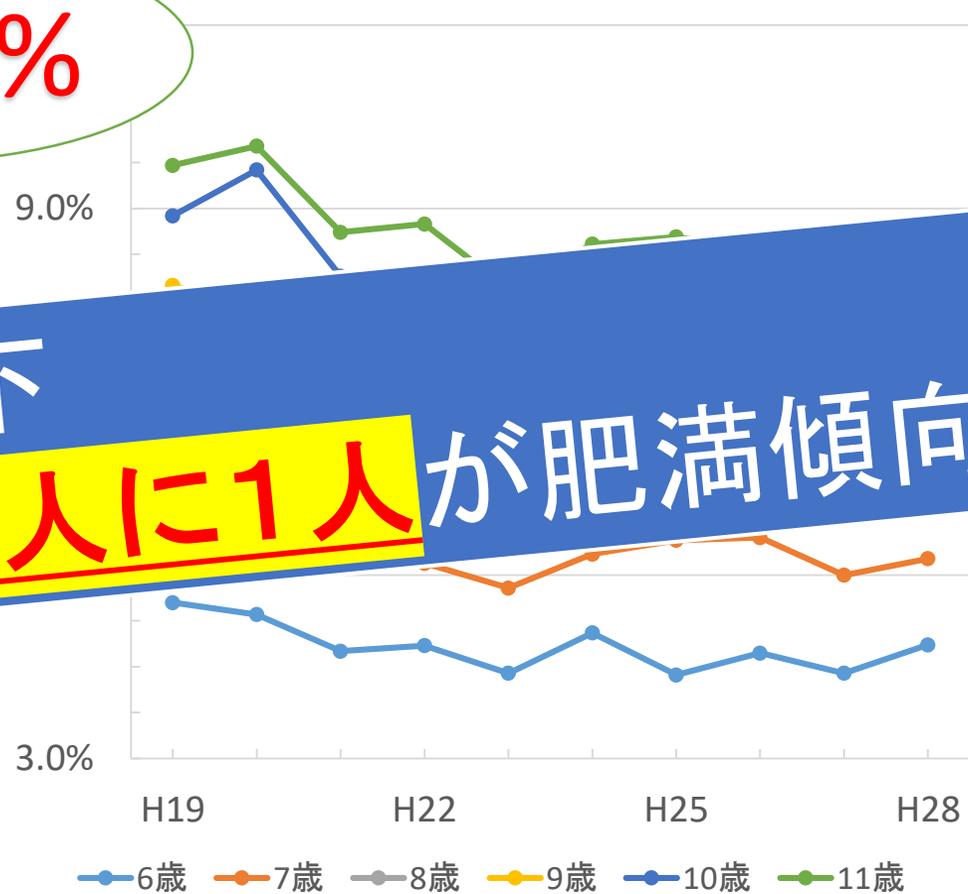
生活習慣病予備軍  
の増加

日本学術会議 2010 「健康・生活科学委員会子どもの健康分科会」

肥満傾向児の出現率(男子)



肥満傾向児の出現率(女子)



肥満傾向児の出現率は低下  
 → 11歳男児のおよそ **10人に1人** が肥満傾向

厚生労働省 生涯学習政策局 平成28年度学校保健統計(学校保健統計調査報告書)の公表をもとに作成

## 小学校における「体育」とは

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、**生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる**と共に健康の保持増進と体力の向上を図り、**楽しく明るい生活を営む態度を育てる**

(文部科学省 小学校学習指導要領 第2章 各学科 第9節 体育より)

# 体育嫌いの要因



1. **有能感**が得られない

2. 周りから低い評価を受けるという**不安**

3. 運動を強制するような**授業形態・指導方法**

(鈴木秀人, 山本理人, 杉山哲司、佐藤善人編著「小学校の体育授業づくり入門 第4版」  
学文社、2016、p.28)

有能感



身体的認知

統制感

受容感



恥ずかしい

失敗したら  
どうしよう

みんなに  
笑われる



馬鹿にされるのが  
怖い

- できない子、向いてない子も強制参加  
— 子どもも同士で**温度差**が生まれてしまう
- やり方・ルールを知っているのが前提で行われる授業  
— **放ったらかし**にされてしまう
- 技能のみの判断でつけられてしまう成績評価  
— 基礎練習ばかりを行うことで**苦手意識**が強まる



## 2. 研究

# 研究方法

## 1. インタビュー調査

- － 関東圏内の小学校教員1名
- － 2018年9月16日実施
- － 小学校体育や子どもの運動に関する現状についてのインタビュー

## 2. 文献調査

- － 小学校教員の体育指導についての先行研究

# インタビュー調査結果

体力・運動能力を鍛える

有能感・親しみを持つ

# インタビュー調査結果

〈昭和60年頃〉

体力の向上

ひたすら**反復練習**

**苦手**と向き合い続ける

**劣等感**の発生

〈現在〉

運動有能感

**運動の特性**に触れる

**得意**を見つけられる

**有能感**の獲得

緒言

研究

提言

まとめ

# インタビュー調査結果

特定の種目



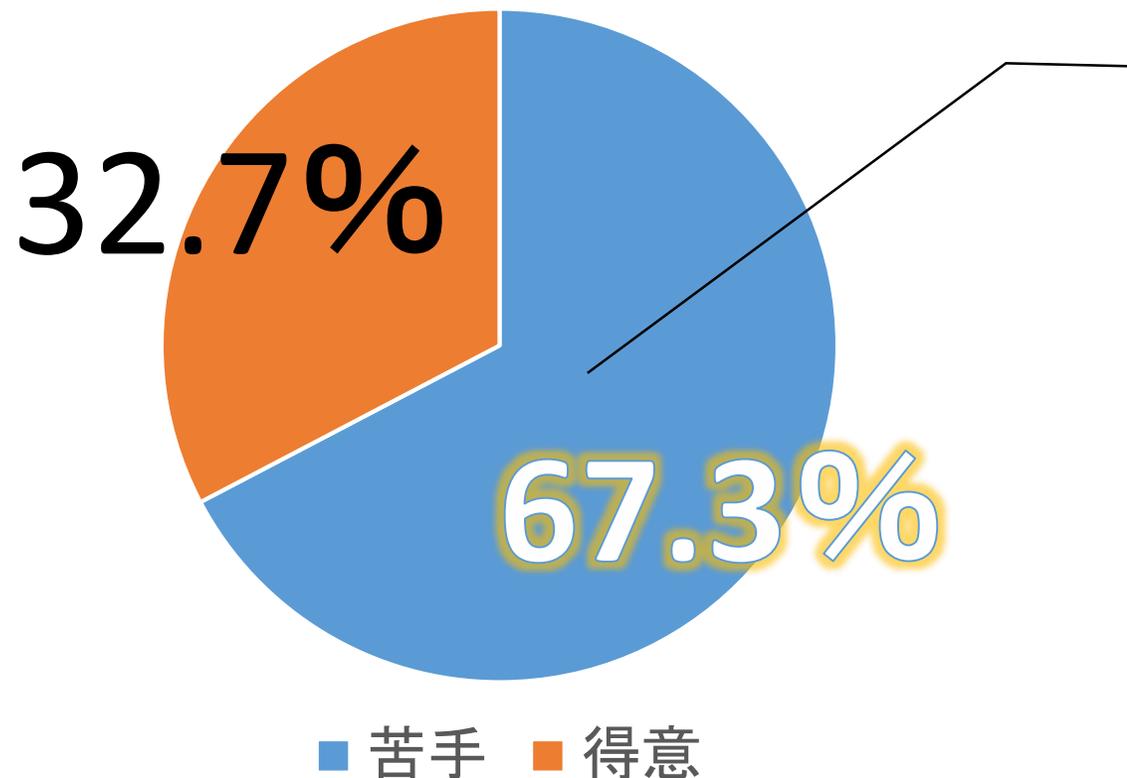
形態の種類



楽しさ

# 文献調査結果

## 体育指導に対する意識



(宮崎市小学校体育連盟、2014をもとに作成)

半数を超える  
約**67%**の教員が  
苦手意識あり

# 文献調査結果

## 体育指導が苦手と答えた主な理由

- 教材研究をするゆとりがない
- 指導技術に自信がない
- 専門的な知識が少ない
- 自分に苦手意識があるため楽しさを感じながら授業を進めることができない



(宮崎市小学校体育連盟、2014)

# 体育が苦手な教員が積極的に行えないこと

授業の計画を  
立てる

達成目標を  
設定する

児童の能力を  
把握する

指導方法や教え方を  
工夫する

(宮尾夏姫・三木ひろみ、2015

「小学校教師の体育授業実践に対する支援の検討－実践状況と指導上の困難さに着目して－」 22

教材研究する  
ゆとりがない

専門的知識が  
少ない

子どもの能力を  
把握できない

授業計画、目標設定が  
できない

指導技術に自信が  
持てない

緒言

研究

提言

まとめ

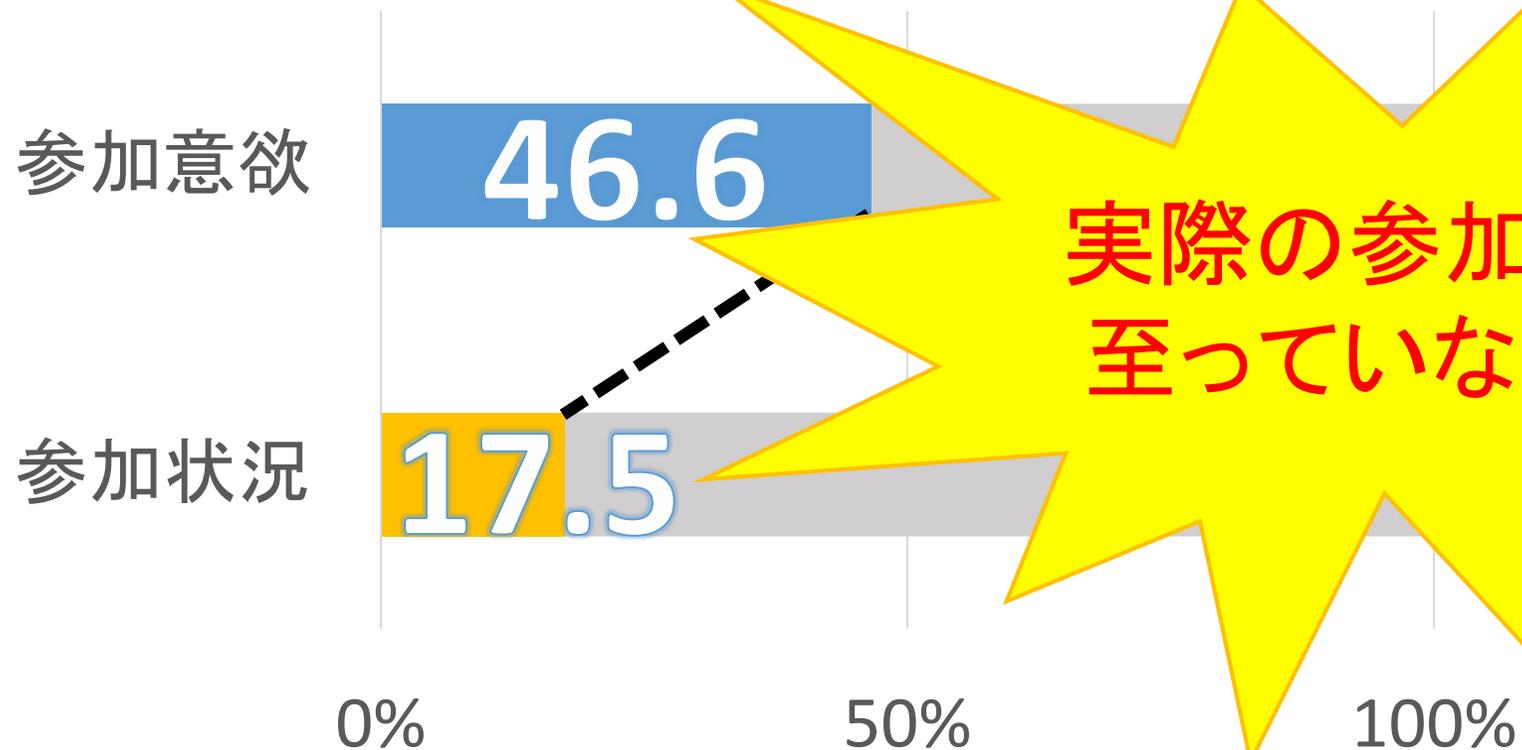
指導方法や指導技術の工夫

同僚性の希薄



# 文献調査結果

## 教員の講習会への態度



実際の参加には  
至っていない!

(鬼澤陽子・安原志帆・内藤年伸、2017、  
「小学校の体育授業の充実を目指した基本的研究

—群馬県における低学年の体育授業の実態調査を通して—」をもとに作成)

## 調査から分かったこと

1.

- 子どもの運動実施の二極化

2.

- 体育の授業に変化

3.

- 教員に体育に対する苦手意識がある

## 調査から分かったこと

1.

• 子どもの運動実施の二極化

2.

• 体育の授業に変化

3.

• 教員に体育に対する苦手意識がある

# 3. 提言

緒言

研究

提言

まとめ

楽学タイム

# 楽学タイムとは？

「**楽**」しみながら

「**学**」ぶ！！



## 〈概要〉

小学校・学童に通う児童、地域の子どもも大歓迎！！

### 実施時間

- 放課後 週1回 1回45分

### 実施場所

- 各小学校の校庭・体育館

### 指導者

- 子どもの運動指導専門インストラクター

### 対象

- 各小学校の教員

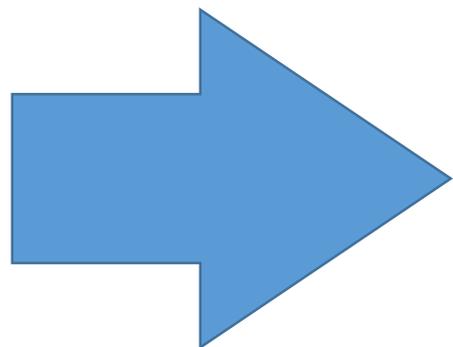


緒言

研究

提言

まとめ



教員と子どもが  
共に学ぶ

外部インストラクターの  
派遣



# 現在行われている講習会の問題点



教員のみ  
での講習

参加  
しにくい



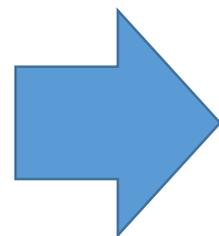
緒言

研究

提言

まとめ

子ども  
参加型の  
講習会



実際の  
授業と同じ  
状況を創造

緒言

研究

提言

まとめ

「楽学タイム」

より**実践的**な  
講習会の  
実現

座の  
対応

緒言

研究

提言

まとめ

運動する  
楽しさを実感

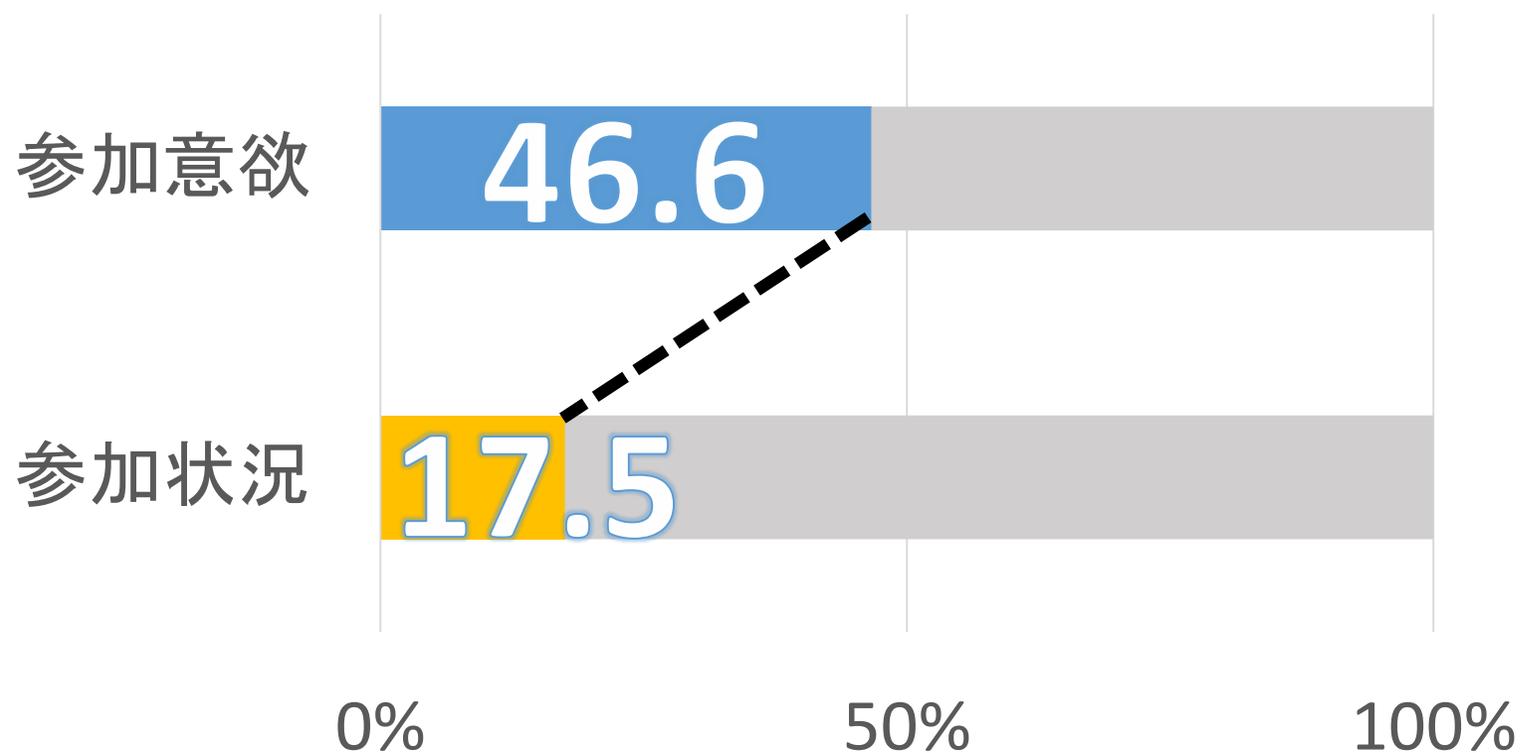
運動への  
興味・愛着

体育への  
苦手意識の  
払拭

子どもに**運動の楽しさ**を  
伝えられるようになる

# 「楽学タイム」の特徴

## 教員の講習会への態度



(鬼澤陽子・安原志帆・内藤年伸、2017、  
「小学校の体育授業の充実を目指した基本的研究

―群馬県における低学年の体育授業の実態調査を通して―)をもとに作成)

「楽学タイム」を各小学校で実施すると・・・

実施場所への  
移動が不要

手続きが不要

講習会への参加を促進！

## 4.まとめ

緒言

研究

提言

まとめ

## 期待される4つの効果

1. 運動実施の二極化

2. 同僚性の希薄化の解消

3. 「三間」の確保

4. 生涯にわたる運動実施の促進

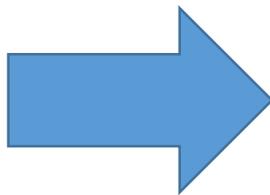
# 1. 運動実施の二極化の解消

運動への  
やる気に繋がる

運動は  
楽しい！



体育の  
指導力向上





## 2.同僚性の希薄化の解消

「楽学タイム」で一緒に運動をする



仲間意識や協力、コミュニケーションが生まれる



教員間の意見交換や相談、サポートの機会が増加



### ③「三間」の確保

空間



時間



仲間



外遊び・スポーツをする機会の提供

## 4.生涯にわたる運動実施の促進

- Ladwigら(2018)

体育

楽しい体育授業づくり  
＝生涯の運動習慣につながる

体育

立

緒言

研究

提言

まとめ



**より充実した体育授業づくり**



**子どもの運動実施の促進**



# 参考文献

- 中央教育審議会(2006)「今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)」(2018.9.23参照)
- 厚生労働省 生涯学習政策局 平成28年度学校保健統計(学校保健統計調査報告書)の公表をもとに作成(2018.9.23参照)
- Ladwig, M. A., Vazou, S., & Ekkekakis, P. (2018). “My Best Memory Is When I Was Done with It”: PE Memories Are Associated with Adult Sedentary Behavior. *Translational Journal of the American College of Sports Medicine*, 3(16), 119-129. (2018.9.29参照)
- 宮尾夏姫・三木ひろみ(2015)「小学校教師の体育授業実践に対する支援の検討—実践状況と指導上の困難さに着目して—」(2018.9.29参照)
- 宮崎市小学校体育連盟、2014(2018.9.29参照)
- 文部科学省(2017)「小学校学習指導要領」(2018.9.23参照)
- 鬼澤陽子・安原志帆・内藤年伸(2017)「小学校の体育授業の充実を目指した基礎的研究—群馬県における低学年の体育授業の実態調査を通して—」(2018.9.23参照)
- スポーツ庁「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2018.9.23参照)
- 鈴木秀人・山本理人・杉山哲司・佐藤善人編著(2016)『第4版 小学校の体育授業づくり入門』学文社 p.28 (2018.9.23参照)

The background features a large, semi-transparent watermark of the Toyo University logo. The logo consists of a stylized yellow and white emblem resembling a bird or a flame, with the text 'TOYO UNIVERSITY' written in a circular path around it.

ご清聴ありがとうございました